

クールビズの新定番！ 『美濃和紙100%』岐阜シャツ クラウドファンディング「Makuake」にて 4月21日発売！ わずか2日で目標金額100万円達成！

おかげさまで
完売いたしました



クラウドファンディング「Makuake」ホームページ(2016年5月2日現在)

岐阜発のクールビズ用シャツ「岐阜シャツ」開発に取り組む岐阜シャツプロジェクトでは4月21日より、クラウドファンディングにより100着限定で販売しました。

今回販売した岐阜シャツは、美濃和紙100%の糸で生地を作る岐阜シャツの“フラッグシップ”モデル※2として制作されたものです。

※1【岐阜シャツ】岐阜の名産品である「美濃和紙」を利用してつくられた、まったく新しい男性向けのクールビズ専用シャツです。「信長の陣羽織」をモチーフとした縦縞の立体的なデザインと快適性を両立させた、夏のノーネクタイビジネススタイルに最適なシャツです。

※2【フラッグシップモデル】製造者側の技術が集結されてつくられた「最も妥協のない製品」。シリーズの「顔」として、製品市場において特別に注目されるものといった位置付け。



岐阜シャツProjectメンバー(右から)縫製・付属担当 吉岡 社長 吉岡源一郎 氏/デザインイメージ担当 ラフリークイン 社長 井上真典 氏/生地製造担当 カワボウ繊維 社長 川島政樹氏/抗菌・防臭加工担当 柏屋商事 社長 武藤昭成 氏/コーディネーター 小林隆臣 氏 (4月18日当所にて)

「岐阜発のものづくりを発信したい」という想いから、販売にはクラウドファンディングを採用(サイバーエージェント・クラウドファンディングが運営する「Makuake」)し、糸から開発したモノづくりであることなどプロジェクトの背景や、美濃和紙が長良川を下って岐阜の特産品である提灯やうちわが生まれたように、岐阜の繊維産業の歴史を紐解き繊維の歴史と重ね合わせた「岐阜シャツ」のストーリーも併せて発信しました。

匠

生地

吸水性、速乾性に加えて『肌触り』も滑らかな美濃和紙100%の生地

カワボウ繊維 社長 川島政樹 氏

2014年にユネスコ無形文化遺産に登録された本美濃紙。この技術を受け継いだ美濃和紙を糸にしてシャツ地を作りました。しかも、合成繊維や化学繊維の力を借りず、美濃和紙100%の生地です。

綿生地よりも吸水・速乾・軽量性に優れた和紙生地(ペーパークロス)は夏用のシャツ生地に最適な素材です。

繊細な美濃和紙糸をビジネスシーンでも使える夏用シャツ生地に仕立てることを目指して試行錯誤しましたが、耐久性はもちろん風合い、仕立て映えともに納得の生地に仕上がりました。



感性

デザイン

織田信長の陣羽織をモチーフにした立て襟のデザイン

ラフリークイン 社長 井上真典 氏

ノーネクタイのクールビズシャツの着こなしにおいて、襟元をいかに涼しくお洒落にデザインするかが、このプロジェクトの最重要課題でした。

この答えがシャツの定番であるウイングカラーとイタリアンカラーを融合させたデザインでした。ジャケットを着用しないときはスナップボタンを留めて襟元のボリューム感を演出。ジャケット着用時はスナップボタンの襟元に重ねること、ノーネクタイのストゥスタイルを引き締めて見せます。

岐阜の地で「天下布武」を唱えた織田信長公。岐阜駅には信長公の金の銅像が建っていますが、岐阜シャツはこの信長公の陣羽織の凛々しく立ち上がった襟のデザインをモチーフにしています。



挑戦

抗菌・防臭

天然由来の薬剤による特殊技術で通常より効果が持続

柏屋商事 社長 武藤昭成 氏

大切なモノを長く着てほしい。毎日の快適をひとつ上へ。そんな思いから今回のプロジェクトに参加しました。

クールビズシャツには汗の臭いを抑える抗菌防臭加工が必須。そこで、従来のものとは異なる抗菌防臭加工技術を使っています。

今回のキットサン加工には樹脂系の接着剤(バインダー)を用いザイオン結合処理をしているため、優れた耐久(定着)性を実現するとともに、生地の手触り・風合いの変化も極力抑えられています。



こだわり

縫製・付属

より美しく着やすいシャツとジャケットのパターンメイクの融合

吉岡 社長 吉岡源一郎 氏

通常はシャツの型紙よりジャケットの型紙のほうがより立体的でパンツや縫製箇所は増えていきます。これはより洋服を美しく見せやすくするためです。

岐阜シャツプロジェクトでは、クールビズシャツをより美しく着やすくするために、シャツとジャケットの型紙・パターンメイクの融合を目指しました。

腕周りや脇のパターンをより立体的にパターンメイクし、よりジャケットに近いシルエットになるように研究を重ねました。

貝ボタンの採用や縫い糸・芯地・生地の接着剤と言いたいわゆる付属品、プレスやアイロン・包装と言った仕上げに至るまで各生産工程にこだわりました。



今後は更なる改良と女性用や異業種を視野に入れた商品開発を進めていきます

コーディネーター 小林隆臣 氏

